

司会 山下市民生活部長

北市長挨拶

令和6年度に向けた交通安全計画等が協議されるわけであります。北海道は交通死亡事故全国No.1、そのような社会状況の中で立ち上げられたのが交通安全推進協議会ではありますが、委員のみなさまにはそれぞれの立場の中でご活躍いただいたことが、今の現況に繋がっているという風に思っています。死亡事故だけではなく、交通事故そのものも減少傾向でありますし、さらに、死亡事故も減っている状況であります。しかしながら、交通事故が無くなったわけでもなく、あるいは死亡事故が無くなったわけではないということから考えると、やはり、富良野市にとって交通事故のない明るい社会を作っていく意味合いからも、また、みなさまのご協力、そして今日の会議の中での有意義なご意見が必要となってくると感じています。それぞれ議題については挙げられておりますけれども、それぞれに皆さんの忌憚ないご意見をいただき、富良野市がさらに住みよい、そして明るい安全なまちに向けていただきますように、みなさんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

山下市民生活部長

市長におかれましては他の公務のためここで退席となります。

これより令和5年度富良野市交通安全推進協議会を開会いたします。

議長につきましては、設置規則に基づきあらかじめ指名する委員にお願いしたいと思います。あらかじめ指名された委員ということで、富良野市交通安全協議会会長佐藤健治様をお願いします。

佐藤議長

議長を指名されました、佐藤です。皆様のご協力を得てスムーズな議事進行に努めたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議題（1）、令和5年富良野市交通事故統計について、救急月報について事務局よりお願いします。

事務局

交通事故統計、救急月報により説明

佐藤議長

富良野警察署山本課長さま補足説明などありましたらお願いします。

山本富良野警察署交通課長

富良野市交通事故統計 2. 月別発生状況について、富良野市で20件人身事故が発生してい

ますが、その内訳について事務局から説明がありましたが、出合頭の事故が11件。その次に追突事故が多くて4件。管内7件のうち4件が富良野市で発生。そして、次に多いのが正面衝突という形になっています。内訳としては以上です。

佐藤議長

続きまして、富良野消防署 平泉署長様。救急月報の補足説明をお願いします。

平泉消防署長

コロナが明けて、観光客が増えている状況ですが、交通事故も観光客による事故が増えている状況にあります。西達布での事故、三の山峠でお父さんとお母さんが、お子様の前で亡くなる痛ましい事故がありましたし、山部では観光バスとトレーラーの事故ということで、観光関係の交通事故が増えたように感じています。

また、救急の方も増えていて、昨年富良野消防署管内において1,067件と、過去最高の救急件数でありました。今年に入ってからまだ2ヶ月半ですけれども、昨年をさらに40件くらい上回った状況で推移している状況となっています。

佐藤議長

続きまして「令和5年度の交通安全運動推進方針について」ということで事務局より説明をお願いします。

事務局

交通安全推進方針について説明

佐藤議長

続きまして、第11次富良野市交通安全計画の推進について事務局からの説明をお願いします。

事務局

富良野市交通安全計画について説明

佐藤議長

ここで、今まで説明のあった部分に関して、ご意見、質問等がありますか？

佐藤議長

なければ情報・意見交換に進めさせていただきます。

順番に各団体で行っている取組、懸念されていることがあればお話ししたいと思えます。

西村警察署長

毎年になりますが、4月に入ってすぐに春の全国安全運動が展開されます。新入学児童が新し

く学校に通学ということになると、やはり、そう言ったところで事故が発生するのではないかと懸念されますので、引き続き警察も、地域住民の方が尊い命が奪われることが無いように、活動を強化してまいります。みなさま方のご協力もいただきたいと思いますので、引き続きよろしくをお願いします。

神開発局富良野道路事務所長

今年度2名の死亡事故が起きましたが、富良野署と現地確認をして、ランブルストリップスという振動を起こしてセンターを認識するような施策だとか、富良野市ではないが交通安全事業ということで取組をさせていただいています。まだまだ不十分ではありますが、少しずつ対応してまいりますので、よろしくお願いします。

近内教育長（代理 佐藤教育部長）

教育委員会では、通学路の安全確保に関する取り組みを行っておりまして、毎年関係するみなさまのご協力を得ながら進めているところでありまして、小学校の通学路について安全を確保するというので、毎年合同点検を行っています。令和5年度につきましては、9月に樹海学校と山部小学校の通学路の危険箇所を点検したところです。6年度につきましても引き続き合同点検を行っていきたいと思っています。

もう1点、令和7年4月に富良野市内の新設・統合校ということで、その通学路における生徒の安全確保に関する要望というものを、警察署の方にださせていただいたところです。令和7年4月に新設校が現緑峰高校の方に移るということで、生徒の数も3倍に増加するというので、JR富良野駅から横断が必要な箇所に横断歩道、歩行者用信号の設置について、要望・お願いしてきたところです。以上です。

平泉消防署長

救急車が富良野に2台、山部に1台ありまして、3台の救急車を計画的に更新している状況です。昨年山部の救急車が更新されました。訓練について、富良野・南富良野・占冠の職員が合同での訓練もしておりますし、ドクターヘリの要請も躊躇なく行っているところです。今後とも、ご協力を頂きながら、少しでも死亡事故が無いようにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

佐藤議長

富良野交通安全協会ですが、事務局からもあったとおり外国人の観光客が増えて、飲食店前の道路にワンボックスカーが逆駐車しているだとか、一時停止の無視、信号無視がすごく増えていたので、チラシをA3で作って市内の料飲店組合、北の峰旅館組合、富良野旅館業組合にお願いして全会員に配布したのですが、緊急的に作ったので、また改めて夏用に作成し、本来ならば千歳空港のレンタカー会社まで行ってお願いしなければならぬのかなと思っています。また、昨年からは自転車のヘルメット着用義務（努力義務）となっていますので、市民団体からいただいた寄付を使って、新入学児童にヘルメットの購入助成をしています。また、8角形の止まれの看板

を個別に取り付けをしております。

北村山部交通安全協会会長

旗波など取組を進めていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

廣瀬交通安全指導員会長

交通事業者としての立場からお話をさせていただきますが、先ほど佐藤議長から交通安全協会で飲酒運転の撲滅ということで、チラシを配っていただいています。交通事業者の目から見るのもう一つ、宿泊施設に海外の方が泊まるときに受付では、必ずパスポートのコピーをとって受付するのですが、その際にこのようなチラシを配布するような協力をしていただくと、夕食に出るときに自分たちにハンドルキーパーが必要なかどうか、また、国によっては飲酒が若干緩い国から来られている方が、その認識が日本では通じませんよということをPRする意味でも、宿泊関係者にもお願いすることも必要なのではということ、また、公共交通サービスの充実ということで、フラノイブニングシャトルバスがありますけども、これもやはりインバウンドの復活に合わせた形での需要に対応するだけの本数がまだ足りないのかな、という感じがしております。北海道内でタクシーのニセコモデルということで、ニセコ・倶知安町で約20,000人の人口のところに、冬場には20,000人の観光客が来るということで、倍になるわけですから、通常の町民が使っているタクシーの台数では全く足りないということで、札幌だとかから応援に入って、今回初の成果・好評を得たということで新聞に載っていましたが、富良野でもそういうものが必要なのかそうでないのか、いわゆるシャトルバス・代替で済むものであればそれを増やせば、タクシーは忘年会等で市民の方に通常のタクシーとして回せると、その棲み分けみたいなもの、やはり、入ってくる人数を事前に把握しながら、それに合わせた形での交通の足をこちらの方で準備しておくということが必要になってくるのかなと感じております。

山田旭川方面富良野地区安全運転管理者協会会長

特にございませぬ。

鎌田富良野市連合町内会協議会長

交通安全のテーマは永遠のものでありますから、町内会協議会の会合、あるいは、老人会の会合で常に冒頭のあいさつの中では、交通安全について入れております。しかし、交通安全は老人、子どもたち含めて全体のテーマでありますから、お示しされたものを検討しながら進めていきたいと思っています。

吉中山部地区総合振興協議会長

北村会長が言った通り、啓蒙活動をしっかりやっていかなければならないというのが念頭にあり、鎌田会長がおっしゃられたとおり、永遠のテーマでありますから、山部としましても様々な会合の中で交通安全を常に声をだしておりますけれども、なかなか、声を出すだけではどうにもならないこともありますので、旗波作戦とかこれまでの取組もありますのでしっかりやっ

なければならない、それと、指導員の皆さんも高齢化・人材難で減ってきて活動がしずらくなっている状況も見えるので、その辺の対策も含めてやっていただければと思います。

長田東山地域連絡協議会事務局長

地域としては、農事組合など様々な会合に出向きまして、声かけをしているところでございます。また、東山・山部方面は鹿が新芽を食べるのに出てきていますので、走行には十分注意していただきたい。

佐藤富良野中央婦人会会計

高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違いが目立っているなと思います。過信せずに交通事故を防げたらと思っています。

今富良野市老人クラブ連合会副会長

老人会の各種会議の中で注意喚起しながら進めていきたいと思っています。

北川富良野市建設水道部長

先ほど教育委員会からありましたけれども、通学路における合同点検ということで危険箇所等を巡視して安全を確保する取組、また、地域とお話をしながら道路管理者としての取組を行っています。春先・雪解け時期は道路に穴が多く見受けられると思います。今、まだアスファルトの下は凍っている状態ですので、どうしても修繕していくとなると5月の連休明け、暖かくなって少し落ち着いてからでないと、アスファルトの修繕ができないということで、スピードを出す人が多くなってきますけれども、できる限り徐行・スピードダウンをお願いしたい。どうしても、穴が大きく車等に損傷をきたすという部分もあると思います。その時には、建設水道部都市施設課に連絡いただければ、状況を確認してできる限りの手当をしていきたいと考えていますので、気が付いたところがあればご連絡をいただきたいと思っています。限られた職員の中ですべては回れませんが、地域のみならず、関係機関のご協力を頂きながら行っていきたいと思っています。

鹿につきましては、北の峰など夕方・夜含めて街中にも出てきております。そのようなことから、スピードダウンをお願いしたいと思っています。

野原委員

更新時講習の中でお話する機会があります。免許証の返納について、それしか道がないわけではなく、今日は体調が悪い・自信がないときは車に乗らない、運転は慎重にということ、話す機会には触れているところです。

佐藤議員

以上で協議会を終了させていただきます。